

第5回 切目川ダム検証に係る検討会議 議事要旨

【開催日時】平成23年1月6日（木）14:00～15:40

【開催場所】印南町役場 西別館2階 会議室

【主な出席者】

- ・和歌山県 県土整備部：松前河川・下水道局長、川村河川課長
日高振興局：田中建設部長、松原切目川ダム建設事務所長
- ・印南町 玄素印南町長、山下副町長、古谷建設課長、中野生活環境課長

【議事要旨】

1. 検討経緯

- 前回会議以降の取り組み及び今後の進め方について県から報告した。

2. 意見聴取結果

- 県から、パブリックコメント、随時意見募集、学識経験者からの意見聴取、関係住民・関係利水者・関係漁業者からの意見聴取、関係地方公共団体の長・関係利水者からの意見聴取、以上の実施概要、提出意見等の概要及び提出意見等に対する県の考え方について説明を行った。
- 町から、追加・修正すべき点は特になかった。
- 県からは、意見聴取結果をうけ、必要な追加・修正を行ったほか、提出意見等に対する県の考え方の公表等により説明責任を果たす旨説明した。

3. 報告書（原案）について

- 報告書（原案）について、提出意見等をうけて追加・修正した主な内容として、人口統計、動植物の生育・生息域、堰の魚道設置、水道事業供用予定、放水路案事業費、森林の保全等の取り組み、環境への影響、総合的な評価などの記述について県から説明を行った。
- 費用対効果分析について、平成22年12月6日付けの国交省通知等をうけて再度確認し、分析結果を見直したこと及び感度分析を追加実施したことを県から説明した。
- 最終的な報告書には、第5回検討会議及び事業評価監視委員会の結果を反映する旨県から説明を行った。
- 印南町簡易水道事業について、印南町から指摘をうけ「平成26年度完成予定」と修正することとした。（P.45, 141）
- 町から、他に追加・修正すべき点は特になかった。

4. 対応方針（原案）について

- 関係者からの意見聴取結果を受けて本検討の内容を改めて吟味した結果、素案で示した総合的な評価の結果の見直しが必要な論点は見られなかったと受け止め、ダム事業の点検結果、治水・利水の代替案比較検討結果等を総合的に勘案すると、切目川ダム建設を現行通りそのまま継続することが妥当と考えられること、及びダムによる環境影響について継続的なモニタリング、環境影響の軽減等に真摯に取り組むことを主旨とする対応方針（原案）を、県から説明した。
- 町から、追加・修正すべき点は特になかった。

5. 今後の進め方

- 町から、次回検討会議の有無について質問があり、県からは、県公共事業再評価委員会の意見をうけて検討が必要となった場合及び国土交通省から再検討の要請があった場合には再度開催するが、特に検討の必要がなければ最後になる予定と説明した。
- 町から、事業評価監視委員会からの意見聴取、来年度予算に向けた国の対応スケジュール等、今後の進め方に関し質問があった。県からは、一日も早く国に報告するよう努めるが、国は、「中間とりまとめ」において「概算要求など予算措置を講じる上で適切な時期に判断する」としており、昨年末には来年度予算について「個別ダムの検証の動向を可能な限り見極めた上で、適切に対応」、「実施計画において確定」としているが、具体的なスケジュールについて県では承知していない旨説明を行った。
- 町から、水道事業は平成26年度までにやらなくてはならないので、県としても計画通りダム事業が進められるように国に訴えかけてほしいと要望があり、県からは、昨年行った政府提案や知事・地方整備局長会議において、検証結果を来年度予算に反映して欲しいと知事から要望している旨説明した。
- 町から、他に追加・修正すべき点は特になく、検討会議資料に第5回検討会議の結果を反映したうえで「(案)」をとって報告書(原案)とし、和歌山県事業再評価委員会に諮ることとした。